

令和6年2月21日開会

予算審査特別委員会会議録

鳥取県西部広域行政管理組合議会

予 算 審 査 特 別 委 員 会 会 議 録

~~~~~

## 日 程

日 時 令和 6 年 2 月 2 1 日 (水)

組合議会定例会休憩中

場 所 米子市淀江支所議場

1 開 会

2 審査事項

議案第 6 号

令和 5 年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計補正  
予算 (補正第 4 回)

議案第 7 号

令和 6 年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計予算

3 閉 会

~~~~~

出 席 者 (1 6 名)

委員長	奥 岩 浩 基	副委員長	景 山 浩
委 員	土 光 均	委 員	今 城 雅 子
委 員	中 田 利 幸	委 員	戸 田 隆 次
委 員	稲 田 清	委 員	渡 辺 穰 爾
委 員	荒 井 秀 行	委 員	森 岡 俊 夫
委 員	山 路 有	委 員	米 本 隆 記
委 員	勝 部 俊 徳	委 員	山 本 芳 昭
委 員	中 原 信 男	委 員	三 好 晋 也

~~~~~

## 欠 席 者 ( 0 名 )

~~~~~

説明のため出席した者

副管理者 米子市副市長	伊澤 勇人	事務局長	三上 洋
消防局長	赤川 紀夫	消防局参事兼米子消防署長	安達 憲吾
事務局総務課長	矢野 伴典	消防局総務課長	岩田 幸博
事務局施設管理課長	本池 将	事務局ごみ処理施設整備課長	生田 公志
消防局予防課長	後藤 典明	消防局警防課長	吉木 和宏
消防局指令課長	生田 圭一郎	事務局施設管理施設長（リサイクルプラザ）兼ごみ処理施設維持担当課長補佐	小林 祥弘
事務局総務課長補佐兼人事給与担当課長補佐	橋本 雅美	事務局総務課長補佐兼認定審査担当課長補佐	伏野 哲彦
事務局施設管理課長補佐兼浄化場維持担当課長補佐	松並 豊	事務局ごみ処理施設整備課長補佐	加藤 公教
消防局総務課長補佐兼庶務担当課長補佐	美甘 浩幸	事務局総務課入札財政担当課長補佐	三原 剛
事務局総務課企画情報担当課長補佐	前畑 昇吾	消防局総務課経理担当課長補佐	高田 一広
消防局指令課係長	増木 清		

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

議会担当職員

書記長	瀬尻かおり	書記	近藤 隆
-----	-------	----	------

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

1 開 会 (午後 3 時 3 9 分)

○奥岩委員長 ただいまより、予算審査特別委員会を開会いたします。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

2 審 査 事 項

○奥岩委員長 早速ではございますが、日程第 2、審査事項に入りたいと思います。

先ほど、本会議から付託されました議案 2 件について、審査をいたします。最

初に、議案第6号、令和5年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計補正予算（補正第4回）を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。三上事務局長。

○三上事務局長 そういたしますと、令和5年度一般会計補正予算（補正第4回）につきまして御説明をいたします。資料は、右肩に、議案第6号補正予算概要という一枚ものの概要書のほうで御説明をさせていただきます。

1の対象事業でございますが、一般管理費人件費及び消防局人件費でございます。

2の歳入歳出予算の補正でございますが、補正額は164万5,000円で、補正後の予算額は56億9,352万3,000円でございます。

市町村負担金の補正につきましては、全額退職積立基金からの繰入金となるため、市町村負担金の補正はございません。

3の補正の理由でございますが、自己都合により、本年3月31日をもって退職する職員が2名増となったことに伴い、退職手当及び退職積立基金繰入金について補正を行うものでございます。

4の補正内容、それから裏面でございます5の補正予算額につきましては、説明を割愛させていただきます。

説明は以上でございます。

○奥岩委員長 当局からの説明は終わりました。委員の皆様からの質疑等あればお願いいたします。よろしいですか。

〔「はい」と声あり〕

○奥岩委員長 別がないものと認め、質疑を終わります。

続いて、討論を行います。討論ございませんでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

○奥岩委員長 別がないものと認め、討論を終わります。

これより、本件について採決いたします。

議案第6号、令和5年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計補正予算（補正第4回）について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○奥岩委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第7号、令和6年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計予算を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。三上事務局長。

○三上事務局長 そういたしますと、令和6年度一般会計予算について御説明をいたします。資料のほうでございますが、右肩に、議案第7号当初予算概要と記したもので説明をさせていただきます。

1の予算編成における基本方針でございますが、ここに記載しております歳入及び歳出に係る基本方針を堅持しつつ、市町村負担金につきましては、昨年の2月に策定をいたしました鳥取県西部広域市町村圏計画（実施計画）の令和6年度におけます市町村負担金の額48億9,487万1,000円、これを基準といたしまして、可能な限り低減することを基本方針として予算編成を行っております。

2の歳入歳出予算でございますが、当初予算額は50億3,961万7,000円で、対前年度比7億5,883万7,000円、率といたしまして13.1%の減でございます。

市町村負担金は45億6,295万4,000円で、対前年度比で3億4,357万1,000円、率といたしまして7.0%の減でございます。また、先ほど御説明いたしました基準額と比べまして3億3,191万7,000円、率といたしまして6.8%の減となっております。

その下には市町村別の市町村負担金を記載しておりますが、令和5年度の当初予算と比べまして、全ての市町村でマイナスということになっております。

おはぐりいただきまして、2ページの3の主な内容でございます。

初めに、(1)の歳入歳出予算（前年度当初予算との比較）でございますが、まず歳入面におきましては、この資料の5ページに記載させていただいておりますけれども、5ページの中ほどに記載しております退職積立金基金繰入金が皆増となりました一方で、上に記載しております市町村負担金が減額。それから一番下を書いております消防債も減額となっております。

これに対しまして歳出面でございますけれども、7ページから9ページにかけて記載させていただいておりますけれども、各費目におけます退職手当及び退職積立基金積立金が皆増となりました一方で、8ページに記載しております最終処分費の最終処分場委託事業の濃縮水処理施設建設に係る貸付金が皆減となっておりますこと、また、9ページに記載しております消防施設費の大山消防署庁舎大規模改修集事業と、その下の米子消防署南部出張所庁舎大規模改修事業が事業終了により皆減となっておりますこと、また、3つ下になりますけれども、消防車両更新事業、それからその下の消防車両更新事業（補助事業分）が更新車両の減。また、車種の違いにより皆減額ということになっておりまして、その結果、予算規模といたしましては、先ほど1ページで御説明いたしましたとおり、対前年度比で7億5,883万7,000円の減となったものでございます。

2ページの3の(2)市町村負担金（基本額との比較）でございますが、こちらにつきましては、江府消防署移転新築事業及び高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線更新に係る事業が単年度事業の予定でございましたけれども、6年度、7年度の2か年事業に計画変更となりましたことを要因といたしまして、この基準額が減額となったものでございます。

その下の、新規・拡大事業でございますが、このたび、来年度につきましては新規事業が5つ、拡大事業が3つということで、合計で4,881万1,000円を新たに計上させていただいております。内容につきましては、また後ほど主なものを説明させていただきます。

その下の、5の債務負担行為でございます。新たに5事業につきまして債務負担行為の設定をお願いするものでございますが、一番上に書いております不燃物処理施設維持・補修事業が機器の調達、インバーターの納期の長期化によるものでございますけれども、この理由といたしまして、債務負担行為をお願いしますが、その下の4つにつきましては、工期の変更によります単年度事業から2か年となったことによりまして、設定をお願いするものでございます。

ページをおはぐりいただきまして、少し飛びますけれども13ページをお開きください。新規事業と拡大事業につきまして、事業費が100万円以上のものにつきまして概要を御説明させていただきます。

まず初めに、旧灰溶融施設解体撤去事業でございますが、令和7年度の解体撤去に向けまして、令和6年度におきましては解体撤去工事に係る調査・設計業務を行うこととしておりまして、その業務委託として2,917万5,000円を計上しております。

その下でございます。最終処分場用地取得事業でございます。こちらは最終処分場の建設用地の取得に向けまして、関係住民に対する施設整備概要の説明や先進地視察を行うものでございまして、先進地視察に係る経費と説明会で用います配布資料に係る経費につきまして計上しておりまして。合計額といたしまして、191万5,000円を計上しております。

おはぐりいただきまして、14ページでございます。下の段になります。火災予防業務電子化事業でございます。これは、消防に提出されます申請及び届出を電子化することによりまして、申請者の利便性と事務の効率化を図るものでございまして、ソフトウェアの使用料と器具借料の経費といたしまして110万3,000円を計上しております。

15ページでございます。上の段でございます。米子消防署伯耆出張所庁舎大規模改修事業でございますが、令和6年度につきましては設計業務を行うこととしておりまして、建築主体工事、それから建築設備工事の実設計業務といたしまして1,128万1,000円を計上しています。

次に、その下の拡大事業でございます。一般管理事務費、括弧書きで、電子決裁システム導入経費というふうに書いておりますけれども、これは電子決裁システムを導入するものでございまして、昨年の11月に債務負担行為をお願いしたものでございますが、それを予算計上したものでございます。内容といたしましては、システム導入経費、それからシステム保守・運用経費として439万2,000円を計上するものでございます。

以上で説明は終わります。

○**奥岩委員長** 当局からの説明は終わりました。委員の皆様からの質疑等あればお願いいたします。戸田委員。

○**戸田委員** 不燃物処理費の約5,000万円の増額という、その背景をちょっと伺いたいと思います。

○**奥岩委員長** 小林事務局施設管理課施設長。

○**小林事務局施設管理課施設長** 不燃物処理費が昨年度と比べまして約5,000万円増加している理由ですが、リサイクルプラザの補修工事が増額したものでございまして、リサイクルプラザの補修工事におきましては、総合管理計画に基づきます個別施設計画等で予定される工事を年度ごとにやっておりますため、年度ごとで差が生じます。令和5年度に対して、令和6年度の工事が高額で件数も多かったということで、令和6年度の工事が増額したということでございます。

○**奥岩委員長** 矢野事務局総務課長。

○**矢野事務局総務課長** 若干補足で説明をさせていただきます。

1年前の令和5年度当初は、先ほど申し上げましたとおり、計画に基づく補修工事ということで4件計上させていただいておりましたが、今年度につきましては10件計上させていただいておまして、重複するものが2件ございますが、残りの8件につきましては新規で上げさせていただいておるところで、そのあいさが、この5,000万円ということになっております。

○**奥岩委員長** 戸田委員。

○**戸田委員** 個別施設計画で実施されるということは理解しているんですけど、それで新しい中間処理施設が令和14年度の供用開始ということで、今、計画されているわけですが、今、令和6年度、基幹改良工事等で老朽化が否めない施設の補修工事というのは、今後、計画されなくてもいいんでしょうか。その辺をちょっと伺っておきたいと思います。

○**奥岩委員長** 小林施設長。

○**小林事務局施設管理課施設長** 現在のところ、前回の基幹改良工事で補修しました、交換、更新等しました施設を、定期点検等をしながら、損耗状況に応じて毎年修繕をしながら、令和14年度まで施設を稼働させていくというような計画の下、工事をしておりますので、大きな基幹改良工事的なものは今現在、14年度まで考えておりません。

○**奥岩委員長** 戸田委員。

○**戸田委員** 令和14年度まで定期点検を基にして修繕計画を組んでいくんだと。老朽化の否めない状況のところはどうなるかは、点検の状況によって変わってくるのでしょけれども、今のところは、令和14年度の供用開始の新しい施設までには基幹改良工事は想定をしておらないということよろしいでしょうか。

○**奥岩委員長** 本池事務局施設管理課長。

○本池事務局施設管理課長 先ほどちょっと担当のほうからの説明、若干間違いの部分ございまして。リサイクルプラザの基幹改良工事が、平成25年から28年にかけて3か年で基幹改良工事を実施しております。その後、この建物の総合管理計画に基づいた個別施設計画も立てまして、当然そのゴールというところが令和14年というところにございますので、その間、一応広域として整備は10年間の計画であったものでございますので、その残りの何年かというところは、またさらに計画を見直しながら、何とか14年までの維持管理を適切にしていきたいとふうな計画を立てて施設を管理するという考えでございます。

(「分かりました。了解です。」と戸田委員)

○奥岩委員長 ほか、ございますでしょうか。勝部委員。

○勝部委員 勝部でございます。すみません、ちょっと予算書のほうでお目通しただいていいでしょうか。21ページ。矢野総務課長さんがいいですかね。

職員数なんですけれども、要は本年度が331名、トータルで計上されてますけれども、今年の1月、6年の1月ですね。ついこの間の1月1日だと322名なんですけれども、この差はどう読み解いていけばいいですか。

331名予算計上してあって、一般職並びに消防職トータルで331名。それで1月1日は322名だと思うんですけれども。その数字は、予算書24ページに、一般職が34名と消防職が288名で、322名になるんじゃないかと思えますけれども。いわゆる新規とかいろんなプラスマイナスがあると思うんですけれども、どう読み取っていくかというのは、別に細かいことは要りませんけれども、私が何が一番聞きたいかという、これから最終処分場とか、いろんな事業に対応できる4月1日現在において、職員数が確保できている体制になっているかどうかは基本的には聞きたいということなんです。その点だけをお答えいただければいいと思います。

○奥岩委員長 矢野事務局総務課長。

○矢野事務局総務課長 勝部委員のほうからいただきました最後の質問の項目についてでございますが、1月の総務消防常任委員会のほうでも若干説明させていただきましたが、新しいごみ処理施設の整備に向けました人員体制につきましては、1名増員をさせていただくということで考えているところでございます。それをもって体制を整備して、事業を円滑に進めていきたいと考えているところでございます。以上でございます。

○奥岩委員長 勝部委員。

○勝部委員 はい、了承しました。以上で終わります。

○奥岩委員長 ほか、よろしいでしょうか。

別にあるものと認め、質疑を終わります。

続いて、討論を行います。討論ございませんでしょうか。

(「なし」と声あり)

○奥岩委員長 別がないものと認め、討論を終わります。

それでは、これより本件について採決いたします。

議案第7号、令和6年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計予算について、
原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○奥岩委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は、全会一致で、原案のと
おり可決すべきものと決しました。

以上で、当委員会に付託されました議案の審査は全て議了いたしました。

~~~~~

3 閉 会

○奥岩委員長 これをもちまして、予算審査特別委員会を閉会いたします。

(午後4時00分 閉会)

鳥取県西部広域行政管理組合議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により署名する。

予算審査特別委員長

奥 岩 浩 基